

南遣支隊告示

1416

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



南遣枝隊告示第一号

第四戰隊司令部

三十八年六月五日
於カラス島附近常盤

○官治海軍大尉ヨリ得ル情報(六月十日附)

一、五月廿九日午時敵一隻裝止洋艦ハ、*Sawley* 群島沖合ニ於テ英國商船ヲ臨検ス其後行衛分叩キ去

二、五月廿九日午時敵一隻裝止洋艦(三橋二煙突)白山列島(福島県南端)附近ニ於テ大坂商船雇船ヲ臨検ス

其後今日午時四時十五分北ノ廿七度廿五分東至百廿一度廿五分ノ間ニ於テ南航ノオタニ全標露顯ニ裝止洋艦ノ南航シタルニ會ヒト多

三、各種情報ヲ綜合シ當方面商船捕獲ニ從事スルニテ露國洋艦ハ、*ニール*、*リオン*、*ニース*、*ナット*、*ニース*

四、廿九日迄ニ於テ敵機ニ得ル所ニ五舟山列島ハ、二艘カ根據地ニ利用シタルカ如ク風聞アルヲ以テ昨日形況

六、遁入敵運送船ノ状況未知シ
吳淞左泊

Korea

昇揚了 昔朝着

Madras

廿五日入港

Sourabaya

"

Meerut

"

Surabaya

"

Manila

"

Surabaya

"

上海 中 航

上海上流 碇泊

戦時了 昔朝着

七、清國官憲ハ目下拘留處介交渉中

九、昨日入港ノ三菱洋船ノル、廿日

ノ三菱洋船ニ會シ、南洋西方五平津ヲ航シ、日本ニ返洋船ニ會シ、敵情叢シ

英ハ、我ニ返洋船敵ヲ追蹙セリト云フ (時間不詳)

③



南遣枝隊告示第二号

三十八年六月五日
於カガラ島嶼艦

第四戰隊司令部

○宮沼海軍大尉ヨリ得ル情報

(六月五日)

一 五月廿九日於カガラ島偵察ニ出テ、敵ノ夜装巡洋艦ニ因テ情報ヲ接ス

二 舟出列島偵察ノ為メ、五月廿日上海出發、六月五日取着、カガラ島ニ船長ヨリ

一ソノ報告ニ依テ、長塗港ノ以北搜索セシモ異状ナシ

三 五月廿九日寧波ヨリ舟出列島ニ派遣シタル支那人、六月一日全島陸上敵艦

セト報セリ

四

霞四買収新紙、クヤイナセルト、主筆「オー」ハ、佐原ト會談シテ

従末筆「霞四」圖心事實ヲ漏セシ事アリ、二三日前「ドニール」ヨリオレノ

二隻ハ、巴、南下本國ニ向テ、敵艦中ニ上村艦隊ノ何故、安方面ニ来セヤト

詰問セシ「ア」リト云フ

上村艦隊去ル、其筋内訓ニヨリ、当地新聞社等、其他ノ利用シテ

世目ノ紙上ニ於テ、二日中、南部ヨリ、索敵シ、以テ方面ニ到着セシ

時ヲモテ「ア」リ

沿岸南航、往復頻繁ナル當方面沿岸ヨリ、五月廿九日、一モ敵艦ヲ得、

北、右ト相照シ、敵ガ、島沿岸ヲ、本リタルセト、認ルシ得カ

五箇入傑國運送船六隻申船一隻の清國官憲の拘留處の服を事決
 定と見出左軌(六月三日午後十時)廣東水師提督華祖珪公文の報
 絶領更三送レ上共ニ未訪通知アリ未シ道台員ハ何等通知ニ持テ
 大井山引島偵察船長ヨリレ報告別紙ハ如シ有

七、別紙(異化)主吳出傑國運送船甲而善ハ清國艦隊マシモトトカ薩
 鎮氷が取調ハ報シタルニ係傑國官憲ガ全船ニテ普通商船ト
 シテ取扱ナリ市國官憲(首)リンアリレ際ノモナリ

八、傑國官憲ハ五月廿日突然清國官憲對シ其拘留處を服ス可キ
 事ヲ申シ入官日本船隊ノ来リテ傑國ヲ奪ヒ去シ標事キ標所
 國官憲ヲ責任シテ取扱ハシコシテモナリ

(露國國運送船ハ奥水都全上航ニ收養其當時不可航ナリ)
 (注意)官地大尉ハ上海ニ於テハ三村ト姓名ニ是ナリ

船名	噸數	船種	船主	噸數	馬力	航路	航路	航路
Guamoa	3772	+	+	84	1	2400	北支那	時辰
Guamoa	2949	+	+	89	1	2500	"	"
Prictor	2546	+	+	81	1	1750	"	"
Wadwin	3197	+	+	92	2	3000	"	10500
Woroneg	3278	+	+	99	2	3000	"	10500
Woroneg	2819	+	+	122	2	2900	"	8640
Woroneg		+	+				"	1250

秘

遺南杖隊告示第三號

第四戰隊司令部
三十八年六月五日

○左由備入に水先業内者あり
 ○連送船ヲ吳淞ニ御導し先直領事館ニ来り詳細報告せし
 人ニシテ領事館ヨリ英報部トテ百拜ヲ集ニシテ大尉ノ受領ス
 ニ之ヲ日本赤十字ニ寄附シ申入シタル處心ナド當地大尉ノ於テ
 上海用船ヲサマソシテ二ノ一ニシテ兩船長ノ於テ我情事ヲ以テ
 二居ル確カニテ我出港地方後ノ目的地ノ論兵器等ヲ封シ檢査
 ヲ嚴守セシニテ要ス水先業内者其他外人ニ對シモ同様
 ○水先業内者ノ常盤ニ架組マシメ置キ任要ニ臨ミ他ニ移乗セシメ元
 ○留方面行動中備入セシ支那語通弁ノ左記四名ニテ夫如ク附奉ス

矢野教馬 (三井洋行駐在取人) 上海漢文ヲ解ス 東 愛
 三木善一 (全) 右 全 九 連 建
 内藤善太郎 (全) 左 全 一 右 商 千 總
 田中茂松 (三井物産駐在取人) 常 務

○古社上信置取板
 ○上海ハ多數ノテナブシコトアリテハ又那向ニテハ是ハ上海善地ノ有ル光
 ○先ツ他來地ヲ認ル



遺南隊告示第四號

第三十四戰隊司令部

三十八年六月五日
於ガソラノ附近常盤

六月四日午後(不明)時小田切總領事發電 五日午前九時受領

露國驅逐艦一隻僅大ノ損傷本日午後二時半吳淞着
撥ニ接セリ唯今事實取調中尚ホ三隻ノ露艦捕獲シテ我風

六月四日午後八時半小田切總領事發電 五日午前九時受領

露國驅逐艦「ボートリ」六月四日午後三時五分吳淞入港
三隻組員七十三名、外他艦ノ收容者七十七名ヲ兼組マシテ
吳淞外港ニ来リテ石炭欠乏ナル為メB、G後船庫社ノク

リ「ニ」庚カシ内港ニ入リ兼組中十五人ノ負傷者ハ吳淞ニ
上海ニ送元「ル」ター「電報」ヨシハ「エ」ク「ス」少時ハ「ク」
「ラ」シ「セ」ハ「ク」テ「グ」ヲ「卒」ヒ「馬」尾「刺」ニ「着」セリ各艦共「大」
ク「受」ケ「負」傷「者」ヲ「救」ナリト

六月四日午後九時五分小田切總領事發電 五日午前九時受領

本領事ハ「露」國「驅」逐「艦」ヲ「四」
本領事ハ「揚」州「有」セリ「ボ」ート「リ」ニ「テ」吳淞砲台前面中
流ニ碇泊セリ

○六月四日午後九時五十分小田切総領事「発電」六月五日午後九時
 独乙気船「カシ」本日午後四時頃出港セリ行先不明
 ○注意船「ヤム」カヅラノ南カニ一周向未碇泊又「オレスト」ガ
 ルークモ「バルブ」附近ニ碇泊艦隊用「ナ」居ルモノ如シト
 ○六月四日午後七時「小田切」部以長發電五月九日午後九時受領
 六月五日午後七時「大隻」リガエニ「湾」ノ「教津沖」ニ「三隻」ノ「艦」
 時三十分「菲」律「賓」島「リ」ノ「湾」ニ「入」リ「ト」ノ「電報」發「察」署「ニ」
 有「艦」四「隻」艦「ニ」テ「其」文「申」ニ「白」ク「コ」ヲ「コ」ラ「ル」
 「オ」レ「イ」ケ「レ」セ「ム」キ「ト」シ
 八三日午後十時「コマ」ニ「入」港「セリ」

(3)



南遣枝隊告宗第五號

二十八年六月六日
於カッラフ附近艦隊常襲

第四戰隊司令部

○六月五日午後四時三十分小田切總領事兼電六日午前九時四十五分受領

King energy = 露國義勇艦隊巡洋艦頭シ日曜日 *The Langy*

pauff テ *promised* 及 *Broward* ト思ハル、漁船ニ對シ傳報ヲ

命セリ其後或ル汽船ハ全艦ノ南ニ向ヒ急航スルヲ目撃セリトノ電報

香港ヨリ達セリ

六月五日午後五時四十五分小田切總領事兼電六月六日午前九

時四十五分受領

駁逐艦ホトリトシ艦長ハ既ニ武装ヲ解キ抑番處分ヲ受シルコトニ

全意シ又衆組人負ニ同再ハ戦争ニ從事セザルコトヲ証明セシ

証書ヲ差出セシ者在吳淞清國海軍指揮官ヨリ電報ニ接

セリ

(3)



遣南枝隊告示第六號

第三十八年六月七日
於カシラノ附近機艦常盤

第四戰隊司令部

○五日午前十一時四十分宮地祭電七日午前七時受領

野間香港領事ヨリノ電報ニ依ルバ本日午後二時三十分馬
刺ヨリ入港ノ英國汽船ガヒロ船長ハ昨日ヨリ本日午後五

時 東至 百十五度 五十三分 二於テ露國義勇艦隊一隻馳

業 緯 二十一度五十三分

逐艦二隻滿載荷舩一隻種類不明ノ舩一隻南西ニ向テ航進

スルヲ認メタリト云フ

○五日午後六時小田切總領事祭電七日午前七時受領

露國驅逐艦「ホトリ」本日午後五時半上海上流ニ入港

○五日午後七時四十分軍令部次長祭電七日午前七時受領

香港三井物産會社傭汽船「シンガ」四日正午香港ノ北

十五哩ニ於テ露國偵察巡洋艦二隻ニ遭遇セリト

○五日午後九時二十五分宮地祭電七日午前七時受領

三日夜半ノ滿潮ニ依リ露國運送舩「Wangpukute」

遣南枝隊告示第七號

三十八年六月七日
於丁地吳常盤

英四戰隊司令 部

司令官

參謀

○六月午後七時宣地大尉兼電七日午後二時受領

二日正午上海出發六日正午門司到着ノ三井物産會社雇船

Wakamatsu ハ三日露國軍艦リオリニ臨檢セシヨリ同船速

カハ九哩



○露國義勇艦隊船及運送船

五月廿五日以來吳淞ニ入港シタル露國船船ハ清國官憲監視

ノ下ニ機械要部解除抑留ニ決定シ漸次上海ニ引入シ着々

事業ニ着手セリ六月六日迄ニ上海ニ入港シタルモノハ「ヤロスラフ」

「少ロ子イ」曳船「スツイヤ」駆逐艦「ホルドリ」及給水艦「メテアル」

四隻ニシテ「少ラガミール」ハ吳淞燈台信標所最碇泊場ニ在テ高潮

待チツクアリ又「クロニヤ」コレヤ「及」リ「グシヤ」今尚ホ吳淞外港ニ碇泊

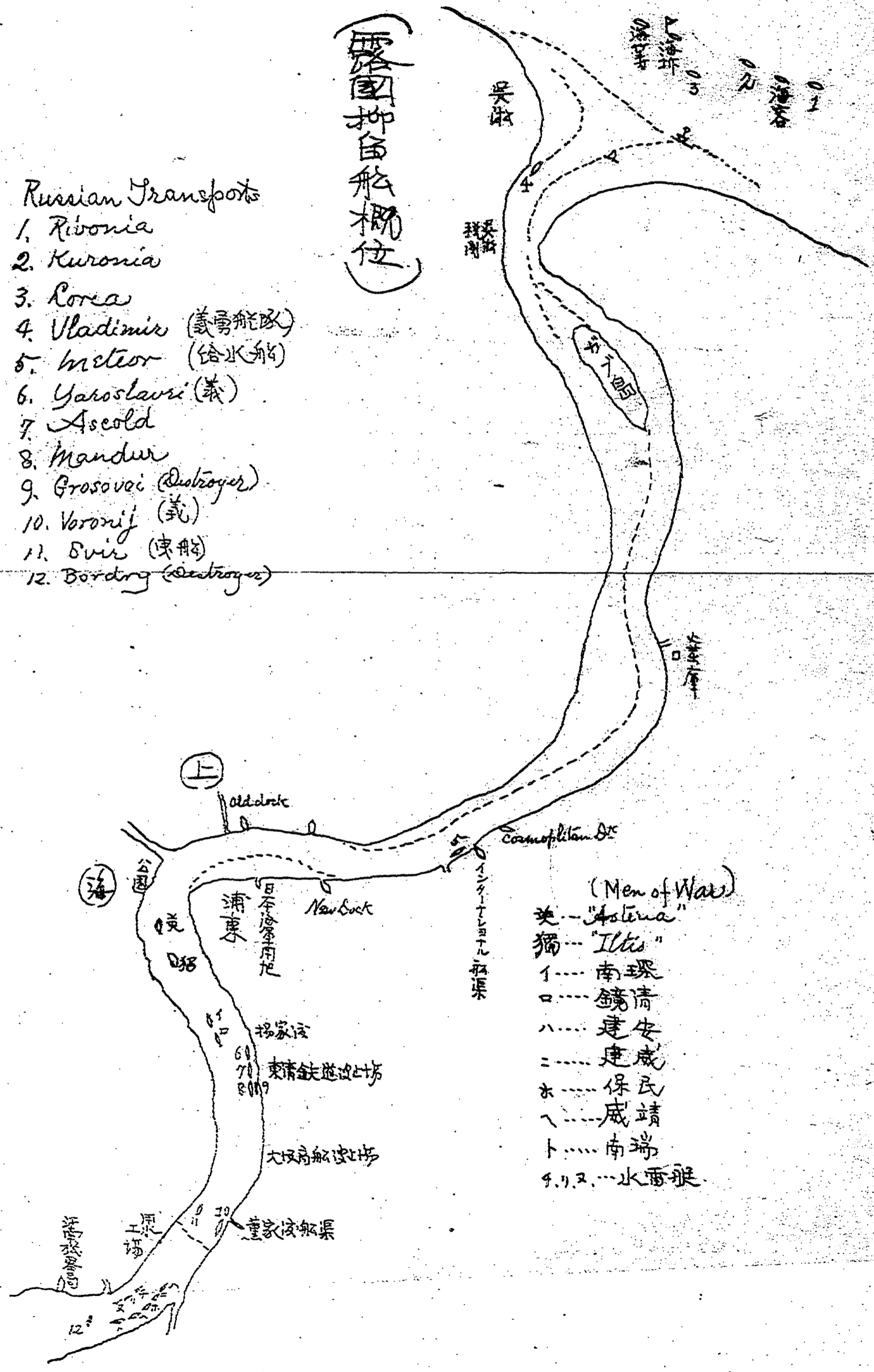
居レリ之等ノ船舶ハ清國軍艦ヨリ各船ニ士官一名下士卒四名宛ラ

配シ之ヲ監督シツクアリ各艦船ノ位置略圖ノ如シ

(3)

露國抑留船棚位

- Russian Transports
1. Ribonia
 2. Kuronia
 3. Korea
 4. Vladimir (義勇艦隊)
 5. Meteor (給水船)
 6. Yaroslavi (義)
 7. Ascold
 8. Mandur
 9. Grossovi (Destroyer)
 10. Voronij (義)
 11. Ovir (曳船)
 12. Bordny (Destroyer)



- (Men of War)
- 英 - "Astena"
 - 獨 - "Iltis"
 - 1 - 南環
 - 口 - 鏡清
 - ハ - 建安
 - ニ - 建威
 - 水 - 保民
 - ハ - 威靖
 - ト - 南瑞
 - 9, 11, 2 - 水雷艇



遣南枝隊告示第八号

英四戰隊司令 部

三十八年六月十四日
於馬公常盤

附令書

表 録



- 當遣南枝隊ハ新嘉坡附近離下ニ在ル如ク佯動シテ以テ枝隊ノ行動可キハ殊ニ秘密ヲ要ス
- 當要港碇泊中各艦ハ十節對テ蒸汽ヲ保ケル必要ニ決シテ夜間ハ碇泊燈ヲ摺ケ舷窓ヲ閉鎖ス適宜哨兵ヲ配シ警戒スルヲ信号在令セラレタリ
- 當行動中夏服ノ肩章ハ附スルニ及バス(碇泊中當直勤衛ニ在ル者ハ除キ准士官以上麥藁帽子ヲ着用シテ差支ナシ)(碇泊中當直勤衛ニ在ル者除キ)當陸上熱帯赤痢疾ノ流行ス生糧區ノ購買差支ナキモ煮沸セザルモノハ用エ可ラス
- 准士官以上日中ニ陸上視察ヲ許ス但し即時収投シ得ルノ區域内ナルヲ要ス
- 當港碇泊中當直勤ハ午後三時旗艇ニ送ル
- 六月九日午後八時着(十日受領)律令部次長ヲ電報
- 八日午後九時十六分域田麻尾刺殺事ヨリノ電報(依大本日報)
- 十三時出港(航浪ヲ至過)七宅(深田)軍艦三艘共出港(洋ル)能辨

面會し唇面及口頭ニテ本艦處分ノ即夫ヲ求メタルニ在リ通リ頭
ニテ回答アリ

出港期限ヲ至過シタルニキ露國軍艦ハ刻令ニ依リ未固艦隊司令長
官ニ引渡シ既ニ同官ニ於テ保管中ナリ然レテ本官ノ受ケタル華盛頓
電刻令ニ單ニ抑留スルトアリテ武装解除ノ文字ナキハ以テ右
未固司令長官ニ於テ同艦ヲ抑留スルニテ武装解除セズ又其重要
ヲ認メス然レニ決裁ナシニテ華盛頓ノ請刻スルハ故テ華盛頓
ヨリ更ニ武装解除スルキ旨明ク命令下ニ非ラサレハ着手セザル様
ナリ

○富士丸ノ当技隊ノ為メ十日午前十時ニ地吳祭十四午前當港着豫
定ナリ炭水薪使物ヲ搭載シ来ル

英炭丸五〇噸 六〇〇噸

○嚴島丸ハ富士丸着次第佐世保ニ向ケ出港セシムル豫定
○六月八日午時聯合艦隊司令長官發電十日夏鎮
島村司令官ヲシテ八雲ヲ率ヒ馬公ニ向ケ出港貴官ノ指揮ヲ受ケ
行動セム

○八雲八日午後九時ニ地吳祭當港ニ向フ
○十日午後六時二十五分着陣令部次長電報

九日午後四時五十八分 香港領事ヨリノ電報ニ依ルニ六月九日「マニ
 ラ」ヨリ入陸セシ英國商船「デア」号船長ノ報告ニ依ルハ(信文二三不明
 七日午後五時北緯十七度三十五分東經百十八度八分海上(馬尼刺西
 北西約百五十哩)ニ於テ三本楯二煙突船体黒色ノ露國軍艦三隻
 ノ一隻ニ會シ信号テ「マニラ」ニ露國軍艦三隻宛泊スルヤ否ヤ之問ニ答
 々要南之旨ニ進航セシト云フ
 「トニセーブル」ナルガ如シ

先ノ通軍防局長ヨリ内報(馬要電轉載)
 戦利軍艦「アリヨール」
 「ニコライ」世
 「アカリキ」世
 「セニヤー」世

右見
 志岫見
 沖ノ島見
 見島
 鼻月

ト軍名セシテ不取敢電報ス
 (台湾)總督府海軍若任參謀長ヨリノ報(馬要電轉載)
 冒夜着東便

「イツムル」船長ヨリ露帝ニ宛一日附セシ「オ」ルガ港發電報中ニ曰
 シ「イツムル」二十九日夜「ウ」ラ「ミ」ル「ウ」ル「ウ」ル「ウ」ル「ウ」ル
 當時財貨僅カニ十磅(也)「ウ」ラ「ミ」ル「ウ」ル「ウ」ル「ウ」ル「ウ」ル
 到底破艦引卸

① 見... (ナカリニシテ) ... 爆沈セリ
 ② 電報セリト云フ (馬要備轉載)
 ③ 当港蒸溜所角西端ト対岸中鼻頭間ニ海底綿敷設ニ下
 ④ 海軍第... 幹事... (馬要備轉載)
 ⑤ 海軍中佐 松井健吉 (第... 隊參謀) 海軍中尉 森下基一 (朝... 隊長心得) 海軍中尉 小高謙之助 (浪連... 隊長心得) 海軍中尉 池田岩平 (曹乗組) 合伴... 俣... 末... 十一日... 築地水交社... 榎青山式場ニ於テ執行ス

③